

令和2年9月18日

日本モンテッソーリ協会（学会）
会長（理事長）前之園幸一郎[Ⓔ]

日本モンテッソーリ協会（学会）会員のみなさまへ

コロナ禍はいまだ終息のきざしが見えませんが、猛暑の夏はようやく去っていこうとしていきます。

皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。ご体調を崩されたり、台風に伴う気象現象の被害に遭われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

日頃は当協会（学会）にご協力を賜り、心から感謝いたします。

本年は残念ながら、COVID-19 の感染防止のため、大会を中止せざるを得ませんでした。それに伴い、全国理事会等並びに総会を従来通りに行うことが出来ませんでした。しかし、基本的な令和2年度の方針を決めないわけには参りませんので、書面議決による全国理事会を行い、それをもって総会に代えさせていただくことにいたしました。（会則第13条2項をご参照ください。）

そこで、本ホームページにおきまして、全国理事会書面議決の際に理事の先生方に配布された書面と全国理事会・総会資料を掲載することにいたしました。一人でも多くの方にご閲覧いただき、今後の協会（学会）の活動にご理解を賜りますようお願いしております。

それでは、皆様のご無事を祈りつつ、来年高知の大会でお目にかかれますことを楽しみにしております。

付記：ご閲覧に際しまして、ご質問、ご指摘等がおありでしたら、090-9856-2866（鈴木）にお問い合わせください。

令和2年8月9日

日本モンテッソーリ協会（学会）役員各位

日本モンテッソーリ協会（学会）

会長（理事長）前之園幸一郎（会長印略）

令和元年度 日本モンテッソーリ協会（学会）全国理事会開催（書面議決）
のお知らせ

日頃は当協会（学会）のためにご尽力いただきましてありがとうございます。

お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

さて、当協会（学会）では、例年、この時期の全国大会時に定期総会を開催しておりますが、この度の新型コロナウイルスの感染防止に鑑みて、本年は全国大会を中止いたしました。したがって、全国理事による書面議決をもちまして、総会に代わる議決といたしたく存じます。このことは以前に先生方にご承認いただいております。

つきましては、同封の総会資料をお読みの上、お手数ですが令和2年8月21日までに、別紙の書面表決書を当協会（学会）事務局宛にご提出ください。

議案の可決についてはご提出いただいた書面表決書のうち、賛成が過半数を超えた場合に可決とさせていただきます。

なお、本会の議案は、新年度を開始するにあたって必須な案件のみをとりあげさせていただきます。協会（学会）運営に当たっては、重要な案件が沢山あることは認識していますが、それらは次の機会を待って議論の俎上に載せたいと考えております。

令和元年度日本モンテッソーリ協会（学会）全国理事会議案

- 議案1 令和元年度事業報告
- 議案2 令和元年度収支決算報告・同監査報告
- 議案3 第52回全国大会収支決算報告・同監査報告
- 議案4 令和元年度委員報告—編集委員会、ルーメル・モンテッソーリ奨励基金受賞者選考委員会
- 議案5 ホームページ管理の件
- 議案6 令和元年度10支部報告
- 議案7 令和2年度事業計画（案）
- 議案8 令和2年度予算（案）
- 議案9 全国大会開催について（四国支部）
- 議案10 全国大会開催について（北海道支部）
- 議案11 全国大会開始について（名古屋支部）

書面表決書

令和元年度日本モンテッソーリ協会（学会）全国理事会（書面議決）について、次の通り議決に関する権限を行使します。（各議案について「A(承認します。)」 「B(承認しません。)」のいずれかに○印をお付けください。）

議案 1	令和元年度事業報告	A	・	B
議案 2	令和元年度決算報告・同監査報告	A	・	B
議案 3	第 5 2 回全国大会収支決算報告・同監査報告	A	・	B
議案 4	令和元年度委員報告—編集委員会	A	・	B
	ルーメル・モンテッソーリ奨励基金受賞者選考委員会	A	・	B
議案 5	ホームページ管理の件	A	・	B
議案 6	令和元年度 1 0 支部報告	A	・	B
議案 7	令和 2 年度事業計画（案）	A	・	B
議案 8	令和 2 年度予算（案）	A	・	B
議案 9	全国大会開催について（四国支部）	A	・	B
議案 10	全国大会開催について（北海道支部）	A	・	B
議案 11	全国大会開始について（名古屋支部）	A	・	B

令和2年9月1日

日本モンテッソーリ協会（学会）役員各位

日本モンテッソーリ協会（学会）
会長（理事長）前之園幸一郎 会長印・略

日本モンテッソーリ協会（学会）令和元年度全国理事会書面表決の結果について

COVID-19に猛暑が重なりまして、厳しい初秋を迎えました。

先生方にはお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。お伺い申し上げます。

さて、この度は感染症の拡大防止の観点から大会を中止といたしました。それに伴い、従来通りの全国理事会並びに総会の開催に代えて、先生方に書面表決書をご提出いただきました。お忙しいところをご協力いただきましてありがとうございました。

下記の通りご報告申し上げます。

記

I. 経過

- * 令和2年8月9日「当協会（学会）全国理事会・定期総会資料」等を当協会（学会）役員に発送。
- * 同年8月21日を締め切りとし、同日14通の表決書を確認。
- * 同年8月25日1通の表決書を確認。
- * 同年8月26日に7通の表決書を確認。
- * 同年8月28日に1通の表決書を確認。
- * 役員総数は28名のところ、締め切り日を1週間過ぎた8月28日までに、23通の表決書が提出され、4通の表決書が未着であった。他の1名事務局長は棄権をした。
- * 承認・承認せずの数の確認は、会長、議事録署名人2名、事務局長が行った。(pdfでそれぞれに送付)

II. 令和元年度全国理事会表決結果（23/28）

議案番号	議案	承認します。	承認しません。
1	令和元年度事業報告	23	0
2	令和元年度収支決算報告（案）・同監査報告	23	0
3	第52回全国大会収支決算報告（案）・同監査報告	23	0
4	令和元年度編集委員会報告	21	2
	令和元年度ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金受賞者委員選考委員会報告	23	0

5	ホームページ管理の件	22	1
6	令和元年度 10 支部報告	23	0
7	令和 2 年度事業計画（案）	23	0
8	令和 2 年度予算（案）	23	0
9	全国大会開催について（四国支部）	23	0
10	全国大会開催について（北海道支部）	23	0
11	全国大会開催について（中部支部）	23	0

上記の表の通り、全議案につきまして、過半数の「承認する」をもって可決されました。

Ⅲ.特筆事項

- * 議案 4 「編集委員会報告」の可決により、本年（令和 2 年度）は、学会誌『モンテッソーリ教育』（53 号）は発行されず、来年度（再来年初夏）に発行されることになりました。
- * 上記「ホームページ管理の件」についての「承認せず」につきましては、「コロナ禍にあっては、SNS が大切なツールであるにもかかわらず、具体的に誰がどのように活用してゆくか言及されていない」というご意見をいただきました。
- * 上記令和 2 年度の事業計画等につきましては、感染症拡大防止対策の動向に伴い、計画の変更または中止を余儀なくされる可能性のあることを、あらかじめご了承ください。
- * 本報告につきまして、ご疑義のおありの場合には、お受け取り後 2 週間以内に事務局宛にメールまたはファックスでお伝えください。（事務局のアドレス：montessori1968@nifty.com
Fax:03-3814-8308）

以上

上記について、事実と相違ないことを確認いたしました。

令和 2 年 9 月 1 日

会長(理事長)：前之園 幸一郎 ㊟

議事録署名人：江島 正子 ㊟

議事録署名人：佐々木 信一郎 ㊟

日本モンテッソーリ協会（学会）

2019年度

全国理事会用資料

定期総会用資料

日本モンテッソーリ協会（学会）

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41

富坂キリスト教センター 2号館内

Tel&fax (03) 3814-8308

ホームページ <http://www.montessori-jp.org>

E-mail montessori1968@nifty.com

令和元年度日本モンテッソーリ協会（学会）全国理事会・総会議案

	総会資料	ページ
議案1 令和元年度事業報告	同 上	1 ページ
議案2 令和元年度収支決算報告・同監査報告	同 上	2~7 ページ
議案3 第52回全国大会収支決算報告・同監査報告	同 上	8 ページ
議案4 令和元年度委員報告一編集委員会、 ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金受賞者選考委員会	同 上	9~10 ページ 11 ページ
議案5 ホームページ管理の件	同 上	12 ページ
議案6 令和元年度10支部報告	同 上	13~22 ページ
議案7 令和2年度事業計画（案）	同 上	1 ページ
議案8 令和2年度予算（案）	同 上	2 ページ
議案9 全国大会開催について（四国支部）	同 上	23 ページ
議案10 全国大会開催について（北海道支部）	同 上	24 ページ
議案11 全国大会開催について（名古屋支部）	同 上	24 ページ

以 上

*本資料においては、支部報告における支部長及び会計担当者の氏名が印字でかつ㊟とされていますが、事務局保存用には別に自署と捺印にて各支部より頂いております。

年間事業(事務局)報告並びに次年度計画書(案)

令和2年6月30日

令和元(2019)年度事業報告書		令和2(2020)年度計画・予定(案)	
令和元年		令和2年	
8月5日	『モンテッソーリ教育』第52号作成開始(編集委員会) 第53回全国大会準備開始(実行委員会)	8月1日	第53回全国大会準備再開(実行委員会)
8月中旬	大会礼状発送・大会期間中納入会費並びに入退会者の整理・ 「第16回支部長会議録」「第20回コース責任者会議録」作成・会 長名大会礼状発送・入会者へ入会書類発送(メールまたは郵 送) 定期総会での決定により会員名簿作成開始	8月中旬	全国理事会の書面議決の結果を全理事・監事に通知
9月上旬	「事務局だより」No.14作成開始	9月上旬	「事務局だより」No.15作成開始
9月9日	「支部長会議録」「コース責任者会議録」「全国理事会議録」「総 会議事録」全理事・監事宛発送(メールまたは郵送)	10月上旬	編集委員会開催
11月6日	「事務局だより」No.14発行並びに会費請求書を全会員宛発送	10月下旬	No.15発行並びに会費請求書を全会員宛発送
11月16日	緊急常任理事会開催 於: SJハウス応接室	11月中旬	上記請求に対して納入された会費の整理
11月中旬	上記請求に対して納入された会費の整理		
12月中旬	令和元(2019)年度中間決算報告書並びに会計監査資料を作 成し監査を受ける。	12月中旬	令和2(2020)年度中間決算報告書並びに会計監査資料を作 成し監査を受ける。
12月15日	第I回常任理事会開催通知を常任理事・監事、第53・54・55回 大会実行委員長宛発送(メールまたは郵送)	12月下旬	第I回常任理事会開催通知を常任理事・監事、第53・54・55回 大会実行委員長宛発送 (メールまたは郵送)
令和2年		令和3年	
1月25日	第I回常任理事会開催 於: SJハウス応接室 第55回全国大会提案(担当: 中部支部)	1月23日	第I回常任理事会開催 於: SJハウス応接室(or岐部ホール)
2月中旬	上記議事録を全理事・監事宛発送 (メールまたは郵送)	2月中旬	上記議事録を全理事・監事宛発送 (メールまたは郵送)
3月中旬	第II回常任理事会開催通知を常任理事・監事、第53・54・55回 大会実行委員長宛発送 (メールまたは郵送)	3月中旬	第II回常任理事会開催通知を常任理事・監事、第53・54・55回 大会実行委員長宛発送 (メールまたは郵送)
3月27日	コロナ禍のため、第II回常任理事会の開催中止を常任理事・監 事に通知		
4月10日	第II回常任理事会(拡大常任理事会)の書面議決の書類を全 理事と監事に発送		
4月24日	同上書面議決の結果を全理事と監事に通知 第53回全国大会(含: 全国理事会・総会等)の今夏開催の中止 を決定	4月24日	第II回常任理事会開催 於: SJハウス応接室(or岐部ホール)
5月10日	「新年度を迎えるにあたってのお伺い(書面議決のお願い)」を 常任理事に発送	5月中旬	上記議事録を全理事・監事宛発送 全国理事会開催通知発送 (メールまたは郵送)
5月15日	来年の大会が四国支部によって開催されることが決定した旨を 全理事に通知		
6月上旬	『モンテッソーリ教育』第52号発行・発送		
7月3日	名簿完成		
7月中旬	令和元(2019)年度決算報告書並びに会計監査資料を作成し監 査を受ける。	7月中旬	令和2(2020)年度決算報告書並びに会計監査資料を 作成し監査を受ける。
		7月 ²⁵ 20日	「第17回支部長会議」・「第21回コース責任者会議」・「全国理事 会」開催
8月上旬	定期総会に代えて、書面議決にて全国理事会を行う。	7月26日～ 7月28日	第53回全国大会開催 於: ザクラウンパレス新阪急高知
		7月27日	定期総会開催
	編集委員会開催(次年度10月へ)	7月28日	編集委員会開催

* 他に、編集委員会、L・M奨励基金受賞者選考委員会は適宜開催の予定

(収入の部)

自: 令和元年7月1日 至: 令和2年6月30日

令和2年7月1日~令和3年6月30日

科目	令和元年度予算	令和元年度決算	摘要	令和2年度予算案
会費(個人)	3,000,000	3,002,000	5000(円)×延べ600(人)2000(1名)	3,000,000
会費(団体)	1,200,000	1,280,000	5000(円)×延べ250(口)	1,200,000
会費(維持)	500,000	500,000	10000(円)×延べ50(口)	500,000
入会金	150,000	104,000	2000(円)×52(口)	150,000
会費計	4,850,000	4,886,000		4,850,000
寄付金	0	0		0
ディプロマ代	300,000	429,000	143名	300,000
書籍代金	20,000	27,071		20,000
学会誌広告料	200,000	185,000	各コース、出版社より	200,000
大会準備金の返金	500,000	500,000	北陸支部より	500,000
利子・利息	3,000	3,003	ゆうちょ銀行、三井住友銀行 愛知銀行(普通・定期)	3,000
雑収入	0	32		0
IAM支援金	800,000	1,000,000	北陸支部より	800,000
寄付金~支様金 までの小計	1,823,000	2,144,106		1,823,000
前年度繰越金	14,818,021	14,818,021	現金・普通預金・振替口座	14,906,093
	33,555,828	33,555,828	定期預金	33,558,418
合計	55,046,849	55,403,955		55,139,511

(支出の部)

科目	令和元年度予算	令和元年度決算	摘要	令和2年度予算案
消耗品費	30,000	4,199	コピー用紙、FAXリボン、インク(プリンター)	30,000
通信運搬費	500,000	348,782	ヤマト運輸(38703) NCT(138426) JP(139483)	500,000
HP費	200,000	149,998	HP保守費(132000)	200,000
交通・宿泊費	1,800,000	765,110	事務局・理事会出席の理事	1,800,000
ルーメル・モンテッソーリ 奨励金	150,000	0	該当者あれども本年度実施せず	150,000
印刷製本費	300,000	265,116	事務局だより及び封筒(127,440) 選挙関係(113,608)	300,000
人件費	2,100,000	1,642,000	事務局、監事への謝礼	1,800,000
賃貸料(含む管理費)	543,084	543,084	富坂富坂キリスト教センター	543,084
会議費	60,000	42,209	緊急常任理事会1回 常任理事会1回	60,000
支部活動費	170,000	60,000	中部支部・近畿支部	200,000
学会誌関連費	1,800,000	2,076,702	編集委員会活動費 会誌製作費(プリントボーイ)	300,000
渉外費	120,000	88,941	からしだね寄付、歳暮・中元(5名)、 香典	120,000
会費	150,000	150,000	日本学術協力財団(50,000) AMI(100,000)	150,000
書籍支払金	10,000	0		10,000
手数料	15,000	10,396	ゆうちょ銀・三井住友銀行他	15,000
税金	100	11		100
雑費	0	15,000	会員(誤入金)に返金した金額	0
大会準備金	500,000	460,216	四国支部	500,000
ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金運営費	150,000	0		150,000
予備費	500,000	317,680	名簿製作費(1200)	500,000
支出小計	9,098,184	6,939,444		7,328,184
次期繰越金	12,392,837	14,906,093	現金・普通預金・振替口座	14,252,909
	33,555,828	33,558,418	定期預金(含ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金10,000,000円)	33,558,418
合計	55,046,849	55,403,955		55,139,511

(単位=円)

令和2年6月30日
令和2年7月9日

上記の通り報告いたします。
監査の結果、上記報告通り相違ありません。

事務局長
監事
監事

鈴木弘美
赤松廣政
山本雅子

I. 資産の部

勘定科目	前年度	当年度		備考
現金	13,624	1,650	1,650	(次期への繰越金)
普通預金	4,089,318	2,856,916		三井住友銀行普通預金口座 郵便振替口座 みずほ銀行普通預金口座
	334,104	76,559		
	3,715,008	3,715,056		
計	8,138,430		6,648,531	
貯金	6,665,967		8,255,912	ゆうちょ銀行総合口座
定期預金	10,115,667	10,116,526		三菱UFJ銀行定期預金口座 三井住友銀行定期預金口座 三井住友銀行定期預金口座
	20,440,161	20,441,892		
	3,000,000	3,000,000		
計	33,555,828		33,558,418	
資産合計	48,373,849		48,464,511	

II. 負債の部

勘定科目	前年度	当年度		備考
その他の固定負債	10,000,000		10,000,000	ルーメル・モンテッソーリ奨励基金引当金
負債総合	10,000,000		10,000,000	

III. 正味資産の部

前年度繰越高	20,438,430			三井住友銀行定期預金口座 三菱UFJ銀行定期預金口座 定期預金を除く現金・預金
	10,114,810			
	17,958,193			
計	48,511,433		38,373,849	前年度繰越金
消費収支差額	-10,137,554		90,662	当年度消費支出差額
	38,373,849			
正味資産の合計	38,373,849		38,464,511	次期への繰越金＝余剰金
合計	48,373,849		48,464,511	負債の部＋正味資産

財産目録（案）

（令和2年6月30日現在）

（単位：円）


資産の部

勘定科目	前年度	当年度		備考
現金	13,624	1,650	1,650	
普通預金	4,089,318	2,856,916		三井住友銀行普通預金口座 郵便振替口座 みずほ銀行普通預金口座
	334,104	76,559		
	3,715,008	3,715,056		
計	8,138,430		6,648,531	
貯金	6,665,967		8,255,912	ゆうちょ銀行総合口座
定期預金	10,115,667	10,116,526		三菱東京UFJ銀行定期預金口座 三井住友銀行定期預金口座 三井住友銀行定期預金口座
	20,440,161	20,441,892		
	3,000,000	3,000,000		
計	33,555,828		33,558,418	
資産合計	48,373,849		48,464,511	

令和2年6月30日

上記の通り報告いたします。



事務局長

鈴木弘美 

令和2年7月9日

上記の通り相違ありません。

幹事
監事

赤松廣政 
山本雅子 

日本モンテッソーリ協会(学会)第53回全国大会決算報告書

決算報告にあたって

2020年8月に予定されておりました本大会は、コロナウイルスの感染拡大予防の観点から開催を中止とし、1年の延期となりました。

これに伴い、本年度の全国大会収支報告書は全国大会の開催を念頭においた予算額とは大きく異なり、主には大会延期が決定するまでの大会準備期間(2018年10月末から2020年の7月上旬まで)に関わる経費のみのご報告となっておりますことあらかじめご了承ください。

報告期間:平成30(2018)年10月31日 から 令和2年7月7日迄

<収入の部>

<単位:円>

科目	予算額	決算額	備考
参加費	会員	3,000,000	0 大会中止による
	非会員	2,400,000	0 大会中止による
	ワークショップ	450,000	0 大会中止による
	一般公開講座	0	0 大会中止による
	旅行代理店委託手数料	250,000	0 大会中止による
	昼食弁当代	700,000	0 大会中止による
	祝賀会	1,200,000	0 大会中止による
小計(A)	8,000,000	0	
賛助金	広告費	720,000	0 大会中止による
	出店展示費	320,000	0 大会中止による
小計(B)	1,040,000	0	
借入金	500,000	500,000	JAMより準備金として借入
寄付金	0	0	大会中止による
雑収入	500,000	460,220	銀行利息・大会延期補正費(JAMより)
小計(C)	1,000,000	960,220	
収入の部 合計(A+B+C)	10,040,000	960,220	

<支出の部>

<単位:円>

科目	予算額	決算額	備考
人件費	講師	350,000	0 大会中止による
	ワークショップ	100,000	0 大会中止による
	実行委員・アルバイト	400,000	0 大会中止による
小計(A)	850,000	0	
その他経費	会場費	3,700,000	0 会場賃貸料のキャンセル料は不要
	旅費・交通費	400,000	255,760 実行委員会交通費・会議交通宿泊費
	通信費	200,000	157,422 切手、輸送料
	印刷費	500,000	45,860 大会パンフレット/大会封筒作成
	昼食弁当代	700,000	0 大会中止による
	祝賀会費	1,150,000	0 大会中止による
	会議費	100,000	5,490 実行委員会/執行部委員会
	旅行代理店委託手数料	600,000	464,740 参加申込書発送までの業務委託
	渉外費	300,000	0 大会中止による
	消耗品費	450,000	29,962 事務用品費等
	手数料	10,000	986 振込手数料等
	借入金返済	500,000	0 大会延期のためJAMへ未返金
	JAM支援金	380,000	0 大会中止による
	支部活動費	0	0 大会中止による
予備費	200,000	0 大会中止による	
小計(B)	9,190,000	960,220	
支出の部 合計(A+B)	10,040,000	960,220	

上記の通り、2020年度の全国大会の収支をご報告申し上げます。

令和2(2020)年 7月 7日 第53回全国大会 実行委員長 乾 盛夫



第53回全国大会 事務局長 岡村 次朗



日本モンテッソーリ協会(学会)第53回全国大会in高知
大会準備に関わる収支内訳書

報告期間 平成30(2018)年10月31日 から 令和2年6月30日迄

収入の部 <単位:円>

科目	金額	備考	確証資料
準備金	500,000	JAMより大会準備金として借入	通帳記録
利息	4		通帳記録

合計(A)	500,004
-------	---------

支出の部 <単位:円>

科目	金額	備考	確証資料
旅費交通費	255,760	執行部会・実行委員会開催に関わる委員の交通費 広島ワークショップ打合せに関わる交通費 福岡ワークショップ打合せに関わる交通費	交通費積算方法 領収書控え
通信費	157,422	講師依頼書発送/研究発表募集の発送 中止及び延期のお知らせはがき送付	領収書控え
会議費	5,490	執行部会・実行委員会開催に関わる会場使用料/お茶代	領収書控え
印刷費	45,860	福井大会での次大会広告チラシ印刷 大会パンフレット/大会申込用角2封筒印刷 その他事務局印刷費	領収書控え
消耗品費	29962	印鑑作成/封筒代/用紙代	領収書控え
手数料	986	振込手数料/代引き手数料	領収書控え

合計(B)	495,480
-------	---------

準備金残(A)-(B)	4,524	内訳(通帳残4,524円+現金残0円)
-------------	-------	---------------------

未払い金

科目	金額	備考	添付資料
委託費	464,740	名鉄観光への業務委託費	請求書

不足金送金依頼金額

未払い金(464,740円) - 準備金残額(4,524円) = 460,216円

領収書等の確証に基づき、上記の通りご報告いたします。

日本モンテッソーリ協会(学会)第53回全国大会in高知
大会事務局 事務局長 岡村次朗



令和2年7月16日

監査の結果上記のとおり相違ありません。

日本モンテッソーリ協会(学会) 監事

赤松 廣政

日本モンテッソーリ協会(学会) 監事

山本 雅彦



日本モンテッソーリ協会（学会）
会長（理事長） 前之園幸一郎殿

監 査 報 告 書


日本モンテッソーリ協会(学会)の令和元年度の会計及び業務監査について


標記の件に関し監査いたしましたところ、報告書の通り相違ありませんでしたことをここに報告申し上げます。

なお、関係書類・計算書及び当該書類に関しても適切な執行、適切な処置と認めます。

令和2年7月9日

日本モンテッソーリ協会（学会）

監事： 赤松 廣政 

監事： 山本 雅子 

令和元年度決算書参考資料

—繰越金の内訳（定期預金を除く）—

1)	ゆうちょ銀行総合通帳	8,255,912
2)	三井住友銀行普通預金通帳	2,856,916
3)	郵便振替口座残高	76,559
4)	みずほ普通預金通帳（寄付専用口座）	3,715,056
5)	手持ち金	1,650
合計		14,906,093


—繰越金（定期預金）の内訳—

1)	三井住友銀行	20,441,892
2)	三菱UFJ銀行	10,116,526
3)	三井住友銀行	3,000,000
合計		33,558,418

上記の通り相違ありません。

令和2年7月6日

事務局長

鈴木 弘美 

日本モンテッソーリ協会(学会)第52回大会収支決算書

収入の部

<単位=円>

科目	予算額	決算額	備考
参加費	会員	3,000,000	10,000×311
	非会員	3,000,000	12,000×328
	第3日のみ		10,000 1,000×10
	ワークショップ	150,000	261,000 1,500×174
	懇親会	1,760,000	1,445,000 8,500×170
	弁当代	1,210,000	1,101,100
旅行社委託費	275,000	319,500	500×639
賛助金	広告料	300,000	880,000
	出店展示料	150,000	400,000
	福井コンベンション		1,565,295
利息・その他		1,204	普通預金利息4円+発表要旨録販売1,200円
借入金	500,000	500,000	日本モンテッソーリ協会より
合計	10,345,000	13,529,099	

支出の部

<単位=円>

科目	予算額	決算額	備考
講師	500,000	590,000	
ワークショップ	150,000	598,783	シャトルバス182,590 京都コース150,000 会場費100,000 その他166,193
大会当日運営費	100,000	453,000	
会場費	4,000,000	2,833,696	
懇親会費用	1,760,000	1,614,290	
弁当代	1,210,000	1,070,000	
旅費交通費	125,000	858,367	講師交通費、宿泊代、実行委員交通費
通信費	300,000	297,865	
印刷費	600,000	429,678	
会議費	100,000	1,062,190	つぼみ会場費、実行委員会会議費
渉外費	100,000	84,348	粗品、景品、手作りコスモス
消耗品費	180,000	740,250	お土産バック、Tシャツ、名札、紐、生駒様お礼
手数料		19,672	振込手数料
借入金返済	500,000	500,000	
JAMへの支援金	200,000	1,000,000	
旅行社委託費	275,000	319,500	500×639
支部活動費	145,000	1,000,000	
予備費(事務局費)	100,000	57,460	
合計	10,345,000	13,529,099	

令和 / 年 / 月 / 10日 上記のとおり、ご報告申し上げます。

第52回全国大会実行委員長

極東 光子



第52回全国大会事務局長

桑野 博子



令和 / 年 / 12 月 / 23日 監査の結果、上記のとおり相違ありません。

日本モンテッソーリ協会(学会)監事

赤松 廣政



日本モンテッソーリ協会(学会)監事

山本 雅子



I. 活動報告

『モンテッソーリ教育』第52号を日本モンテッソーリ協会（学会）の会員皆さまに、例年の通り5月に入って、お届け出来たことをとても嬉しく、そして正直言ってホットしています。本誌は、北陸支部主催の第52回全国大会がもとになり、子どもたちが大好きな恐竜の町・福井が、会場でした。

この52号に準備しているとき、想像もつかないことが起こりました。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行です。21世紀になっての世界的な感染症として、サース（SARS 2002年）は中国が、又マース（MERS 2015年）は韓国が大流行の舞台でした。そのときわが国には感染者は入ってこず、対岸の火事のようなものでした。ところが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2020年2月4日、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセスが横浜港に入港し、それからわが国のこの感染症との厳しい戦いが始まりました。

政府の「緊急事態宣言」発令により、感染拡大防止のため70%、80%の外出自粛や、県をまたいだ移動自粛が求められました。新型コロナウイルス感染症に自ら感染しないため、そして他人に感染させないため、「三密対策」や、同意による移動自粛は幹事さんも例外ではありません。ただ印刷所のプリントボーイさんは足を運び、いろいろな形で協力して下さり、例年のとおり『モンテッソーリ教育』第52号を会員の皆さまに郵送できました。編集委員長としてはプリントボーイさんに心から感謝しております。

新型コロナウイルスの猛威は世界保健機構（WHO）テドロス事務局長によれば、6月19日「世界の新規感染者が15万人超と過去最高になり、「パンデミック」（世界的流行）は加速し、致命的だ」と表明しました。わが国もコロナ第2波、第3波について8月説、10月説、12月説、等の記事を目にします。8月の日本モンテッソーリ協会（学会）四国支部主催「第53回全国大会」は中止の連絡がきました。このような社会状況の中、編集委員会としての活動はあるものの、本学会誌も高知大会の開催を待つことに致します。なお、『モンテッソーリ教育』第53号は「モンテッソーリ教育とウイズ・コロナ」の特集も組み入れたく思います。会員の方々はどうぞご準備ください。

Ⅱ. 会計報告

2019 年度 日本モンテッソーリ協会 編集委員会 年間収支決算書

(単位=円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
活動費	859,968	① 人件費 (委員長手当)	50,000
		② 〃 (アルバイト)	528,684
		③ 会場費	0
		④ 印刷費	0
		⑤ 通信費	72,467
		⑥ 交通費	85,828
		⑦ 接待費	5,400
		⑧ 宿泊費	0
		⑨ 消耗品費	22,769
		⑩ 委員会費	94,820
		⑪ 渉外費	0
合計	859,968	合計	859,968

上記のとおり相違ありません。

2020年6月19日 編集委員長
江島正子 印

(以上)

ルーメル賞選考委員会報告書

ルーメル賞選考委員会
委員長 江島正子

第 6 回ルーメル賞受賞者 佐々木景会員。受賞式は次回全国大会の開会式で行われる予定。

経緯

1. 第 6 回ルーメル賞受賞者を選考する委員会(委員:前之園幸一郎、天野珠子、江島正子、甲斐仁子、関聡)は 2019 年 8 月 2 日(金)、福井会場で開かれ、『モンテッソーリ教育』(第 51 号)掲載の研究報告「発達が気になる子どものためのモンテッソーリ教育」の執筆者の佐々木景会員が選ばれ、2019 年度第 1 回常任理事会に推薦することが決定した。

2 2020 年 1 月 25 日(土)上智大学 SJ ハウス 応接間 5 号室において 2019 年度第 1 回常任理事会が開催された。ルーメル賞選考委員会から、佐々木景会員による『モンテッソーリ教育』(第 51 号)掲載の研究報告「発達ที่気になる子どものためのモンテッソーリ教育」がルーメル賞の受賞者に推薦され、審議の結果、承認された。2019 年度第 2 回常任・全国理事会は新型コロナウイルス感染拡大防止・予防のために書面議決の形式で行われ、本件は承認、議決された。

受賞者の紹介

佐々木景会員 北海道出身、東北福祉大学卒業。1985 年、うめだ・あけぼの学園で、モンテッソーリ教育に出会う。障がい児を通してモンテッソーリ教育を学び、モンテッソーリ教育を通して子どもの内なる生命の奥深さを知る。

2004 年、児童発達支援センターこじか「子どもの家」が開設。そこで障がい児にモンテッソーリ教育を積極的に取り入れ、実践を積み重ね、その有効性を確信する。一人ひとりの子どもに、モンテッソーリ理論をもとに具体的な配慮を試みる中で、子ども自身が自己を成長させていく姿や、保護者が子育てを通して生き方の価値観が変わる事実を目の当たりにして、研修会でその事例を紹介する。このことから、現代の子どもや若者が抱えている問題を解決するためにも、モンテッソーリ教育が果たす役割は高いと結論づけた。一方で、目に見える教具や提示、系統図など、方法論に傾倒しやすいモンテッソーリ教育を見直し、まずは教師自身の価値観の変革と自己成長を目指して生きることが必要ではないかと示唆する。

(ルーメル賞については日本モンテッソーリ協会(学会)のホームページでもご覧になれます。又、故ルーメル 3 代目会長のルーメル先生のホームページ：<https://luhmer-sj-klaus.jimdofree.com/>でもご覧になれます。)

ホームページ管理の件

- ① 当協会（学会）ホームページは、2ヶ月ほど前に、管理をお願いしているサンライズアイさんのご助言によりレイアウトが変更されました。今、多くの方々が、スマホでご覧になるのではないか、ということで、スマホ向けに変更していただきました。もちろん、パソコンの画面もそれに伴って変更されました。カウンターは50000を超えました。平成30年の7月末に30000を超えたとの記録があるので、2年間で約20000のアクセスがあったことになりましたが、さらに多くの方々からのアクセスが望まれるところです。ホームページの改善のためのご意見を事務局までお寄せください。また、ホームページを理事の先生方にもご活用いただきたいと思います。
- ② Facebookも昨年始めました。@jam201906で簡単に検索できますので、是非一度ご覧ください。こちらも、もっともっと多くの方にアクセスをしていただきたいです。

いずれにしましても、この領域については、これらが協会のために生きるように、活用の仕方を改善していかなければならないと思います。

(1) 支部活動報告

2019年12月末、中国で新たなウイルスの風邪が発症したニュースに不安を覚ええました。年が明けそれがこの大流行している新型コロナウイルスだと分かり他人事ではないと感じるのは「あっ！」という間でした。それから半年が過ぎても国内はもちろん世界的にも何らの解決策も立てられない状況の中で目の前の子どもたちの健康を祈るだけしかできない虚しさでいっぱいです。

支部活動は全国大会に向けて2回の会合を持った他、その後の活動はすべて不可能となりましたので下記のご報告といたします。

支部の動き

①全国大会に向けての会合(令和元年6月、10月)

テーマーの絞り込み・講師の推薦・日程の確定・会場ホテルと観光業者決定
プログラムのアウトライン

②令和2年1月の常任理事会にて54回札幌大会の開催が決定される

③快諾いただいていた基調講演者C.W.ニコル氏、2月に死去される

④高知大会が2021年に延期されたことにより札幌大会も2022年開催となりましたので基調講演者の推薦も含めて改めての取り組みとなりました。
新たな環境の中で熱い「モンテッソーリ談義」ができる大会になるよう、支部一同心よりお迎えする準備をする所存です。

(2) 2019年度 会計報告 (2019年7月1日～2020年6月30日)

収入	月日	適用	収入	支出	備考
	2019年7月1日	前年度繰越金	651,589		
	10月1日	受け取り利子	3		
	2020年4月1日	受け取り利子	3		
	小計		651,595		

支出			収入	支出	備考
	小計		0	0	
	当期収支残高		651,595	0	
	次年度繰越金		651,595		

令和2年7月1日
上記の通り相違ありません

会計責任者 近藤 よしみ ®

昨年度の報告は以下の通りです。

コロナ禍で、今年の全国大会が次年度延期になりました。準備をしてくださっていた四国支部の皆様には、心より感謝申し上げます。次年度はお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

I. 活動報告

①支部役員会開催

2019年10月27日 役員会を開催し、「これからの東北支部のあり方」について、検討しました。

松本静子先生には、初回より毎年、東北支部のために研修会講師をお引き受け頂き、本当に実り多い月日でした。しかしながら、体調を崩され、今後、支部の研修をお願いすることができない状況になりました。そのため、東北支部としての今後のあり方を検討いたしました。

東北支部のあり方については、東北支部規程(平成21年11月22日総会議決)の(事業)第3条に示されたことを行っていくことの再確認となりました。また、コースの開設を目標にすることとなりました。

- (1)モンテッソーリ教育の原理と実践の研究。
- (2)輪番制による「日本モンテッソーリ協会全国大会(学会)」開催の担当。
- (3)研修会及び講習会の開催。
- (4)国内各支部との交流並びに情報の交換。
- (5)その他本支部の目的達成のために必要な事項。

②支部研修会について

今年度の支部研修会は、新型コロナウイルスにより、中止となりました。

II. 会計報告 (2019年8月1日～2020年7月31日)

2,722,725(2018年度末残高) + 22(2019年度収入) - 44,364(2019年度支出) = 2,678,383円(次年度への繰越金)

内訳 現金・・・0円 郵便貯・・・2,678,383円

2019年度 収支報告書

収入の部		
科目	金額	内訳
受取利息配当金	22	郵便貯金
合計	22	
支出の部		
科目	金額	内訳
会議費	25,600	役員会会場費等
通信費	17,764	切手・ハガキ代等
交通費	1,000	駐車場代
合計	44,364	

2020年 7月 28日 2019年度の会計処理状況を監査しましたところ適正に処理されていることを報告します。

会計監査 森本 幸子 [Ⓜ]

関東支部

支部長 甲斐 仁子 ㊟略
(東洋英和女学院大学)

I. 活動報告

COVID-19の影響を受けている皆様にお見舞い申しあげると共に、希望をもち共に前進することを祈念している。前年度に引き続き本年度の支部活動に関しては、特筆すべき事柄がないことを支部会員に報告し、お詫び申しあげなければならない。継続研修内容として、大船ルーテル保育園系列で考案され実践されている保育園でのモンテッソーリ教育実践カリキュラムに関する情報提供、さらに、本年度新規案として、モンテッソーリ教育理論を深める必要性に着眼し、会長前之園先生に講話を依頼する件について柳澤会員とも予定していたが、COVID-19のため停止となっている。今回の社会的状況を踏まえ、今後、長年の課題である支部活動の連絡網問題解消を含め、オンライン活用による支部活動の可能性を探る試みをしたい。本協会(学会)のホームページを活用し、支部開催の活動を開示する方法をとっていききたい。支部会員はホームページを閲覧していただきたい。

引き続き、松本良子前支部長のご支援を賜りつつ、また、支部の会計担当(預金通帳および印鑑を保管)をご快諾いただいた柳澤ナオミ会員(つづきルーテル保育園園長)に活力を得て、支部に有効な活動を展開していききたい。ご協力、ご支援をお願いしたい。

II. 会計報告

前年度よりの繰越金		503,642 円
収入	受け取り利息	4 円
収入合計		503646 円
支出		0 円
次年度への繰越金		503,646 円
	内訳 ゆうちょ銀行口座	471,927 円
	手持ち現金	31,719 円
	昨年分の利息は未記帳の為記載せず。	

上記のとおり相違ありません。

令和元年 7 月 15 日

会計担当： 柳澤 ナオミ ㊟略
(つづきルーテル保育園)

東京支部

支部長 江島正子 ㊟
(群馬医療福祉大学大学院)

I 活動報告

私たちは未曾有の、想像さえできなかつた、社会現象に遭遇しました。新型コロナウイルス感染症の大流行(パンデミック)です。新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐために、換気の悪い「密接空間」、多数が集まる「密集場所」、間近で会話や発声をする「密接場面」の「3密対策」が鉄則だと言われています。

それでいまでも不要不急の外出を自粛し、マスクを着用すると共に、隣人との2メートルの社会的距離を保ち、自分が感染しないように、また他の人にも移さないようにしています。

日本モンテッソーリ協会(学会)の10ある支部の東京支部もこの世界的パンデミックの大混乱に巻き込まれました。例年の通りに活動のお知らせを発送する直前に中止せざるを得ませんでした。東京支部長としては、東京支部会員の皆さまと、今度は「新しい生活様式」の中、モンテッソーリ教育についての研修を重ねられることを楽しみにしております。

II. 会計報告(令和元年年7月1日から令和2年6月30日)(単位:円)

前年度繰越金 494,877 (内訳:郵貯 494,877)

利子4円を加えて現在 494,881円(内訳:郵貯 494,881)

令和2年6月24日 上記のとおり相違ありません。

会計担当 窪谷麻理 ㊟

令和元(2019)年度 年間活動報告並びに収支決算報告書

北陸支部

支部長 板東 光子 ㊟

I、活動報告

令和元年度は、「教育に希望をつなぐために」をテーマに、第 52 回モンテッソーリ協会の全国大会を福井で開催いたしました。全国から 600 余名の方々が参加下さり、基調講演・研究発表・・・・・・・・と充実した 3 日間になったと思います。皆様方のご協力、心から御礼申し上げます。

<福井方面の活動>

*公開保育・講演会・・・毎年、会員園が交代で公開保育を行い、実践を通して学びあう機会を設けたり、又講師を招いて講演会を行ってきましたが、今年は全国大会のためにお休みにしました。

*生活の領域に関する勉強会・・・つぼみ保育園の年間を通してのクッキング活動を見学。注意点・配慮点を学び、各園の反省・課題につなげた。目で見学実践の研修で、学ぶことが多く、有意義な時間だったと好評であった。

<新潟方面の活動>

4月に「昼食に関する研修会」を計画していましたが、新型コロナウイルスのために中止になりました。

II、会計報告（令和元年7月1日から令和2年6月30日まで）

収入の部	本部より	30,000 円
	前期繰越金	3,777 円
	52回全国大会より	1,000,000 円
	合計	1,033,777 円
支出の部	福井での活動支援金	10,000 円
次期繰越金		1,023,777 円

令和2年7月3日 上記の通り相違ありません。

会計担当 牧野 莉沙 ㊟

1. 活動報告

本年度は、年4回の研修を企画いたしました。6月新人研修、9月日本モンテッソーリ協会(学会)福井大会参加者による報告、12月はNPO法人TUDOIとの共催による「0歳～3歳から、3～6歳へのつながり、6歳までに育てたいこと」について大原青子先生をお招きして講演会を開催致しました。保育者や保護者を含め59名の参加者があり、モンテッソーリ教育への関心の深さが感じられました。

2月には、名古屋芸術大学を会場にして名古屋芸術大学発達学部、社会福祉法人野並保育園、たきこ幼稚園、日本モンテッソーリ協会(学会)中部支部の4団体が共催いたしまして、汐見稔幸先生より「今なぜモンテッソーリなのか？」を講演して頂きました。433名の方々に参加して頂き盛会の内に終える事が出来ました。

汐見稔幸先生からの講演は、日本の保育、教育はもっと主体的、創造性を育むものにしていかなくてはならないという趣旨のものでした。

当日、多くの参加者の方々からアンケートをいただきましたので、今後の中部支部研究会の活動がより充実したものとなるように、貴重なご意見や要望を丁寧に答えていけるような運営、計画、広報に努めていきたいと思っております。

2. 会計報告 (令和元年7月1日から令和2年6月30日まで) (単位:円)

	科目	金額	摘要
収入の部	前年度繰越金	1,423,749	
	利息	351	
	支部支援金	30,000	
	会費	249,659	年3回の研修会会費
	合計	1,703,759	
支出の部	会場費(印刷代含む)	10,000	
	講師謝礼	144,000	年3回の研修会謝礼
	講師交通費	57,730	
	宿泊費	24,750	
	通信費	7,500	切手代等
	渉外費	30,693	
	次年度繰越金	1,453,836	
	合計	1,703,759	

上記のとおり令和元年度会計報告をいたします。 令和2年7月1日 村田 尚子 印

会計報告を監査いたしました結果、間違いありません。 令和2年7月2日 酒井 教子 印

2019年度年間活動報告ならびに収支決算報告書

支部名 近畿 支部長 瀧野 正三郎 ㊟

(カトリック京都司教区)

I. 活動報告

2020年1月13日に、認定子ども園奈良カトリック幼稚園で、研修会と総会を開催しました。

講義 モンテッソーリの宗教教育

内容 モンテッソーリの宗教教育の意味や提供の仕方について

講師 長谷川京子先生（大濠聖母幼稚園宗教教育専任講師）

参加者：64名

子どもが親しみやすい内容の聖書のお話を、まずは素話で伝え、聖書を読み、ジオラマを用いて立体的に表現し、聖書の一文毎に人形を動かすことで、子どもたちに聖書の内容を解りやすく、また親しみやすくなるような流れでした。

また、典礼カレンダーでは、幼稚園で過ごしていたら耳にする、待降節や復活祭、クリスマスなど、キリストの出来事の順番があり、またそれだけではなく、準備する期間、植物が育つように穏やかに過ごす期間などがある事を知り、キリストの生命を繰り返しながら、私たちは神様をそばで感じながら生きていることを学びました。

子どもたちがモンテッソーリの宗教教育を通して、神さまに出会い、心が喜びに満ち溢れることができるよう、私たち保育教諭が五感を使い、神さまに心を向ける貴重な時間をいただきました。

II. 会計報告（2019年7月1日から2020年6月30日まで）

収入		支出	
研修会費 500円×64名	32,000	研修会場費	25,000
協会より支部活動費	30,000	講師謝礼	30,000
利子	6	研修会講師交通費	33,020
前期繰越金（郵貯）	758,859	研修会雑費	15,884
		印刷代	10,390
		通信費	3,108
		次期繰越金（郵貯）	703,463
合計	820,865	合計	820,865

以上

2020年6月30日 上記のとおり相違ありません。

会計担当 東 裕子 ㊟

中国支部

支部長 島田 美城 ㊞
(エリザベト音楽大学)
副支部長 谷田佳育
(小百合幼稚園 園長) ㊞

今年度こそは充実した研修会をと相談していた矢先の新型コロナウイルスの思いがけない出現で、身動きが取れなくなってしまいました。あっという間に半年が過ぎてしまいましたが、コロナのおかげで新しいコミュニケーションツールが手に入りつつあります。ウイズコロナの時代の新しい研修の方法についても中国支部のメンバーとともに検討してまいりたいと考えております。

活発な活動ができなかったことについてお詫び申し上げます。

Ⅱ. 会計報告 (令和元年7月1日から令和2年6月30日まで)

収入	
前期繰越金	569,943 円
利子	4 円
合計	569,947 円

支出	
次年度への繰越金	569,947 円
合計	569,947 円

令和2年7月16日 上記のとおり相違ありません。

会計担当 藤尾かの子 ㊞
(エリザベト音楽大学)

四国支部

支部長 乾 盛夫 ㊟
(鳴門聖母幼稚園)

I 活動報告

第3回 実行委員執行委員会 2020年1月11日(土)
於:鳴門聖母幼稚園

執行部会 2020年2月 6日(木)
於:鳴門聖母幼稚園

第53回日本モンテッソーリ協会(学会)全国大会開催のために、四国支部実行委員会では準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルスのために、一年延期することに(2021年7月26日~28日)なりました。各講演講師ならびに研究発表者様には、ご迷惑をおかけしますが引き続き来年の全国大会へのご協力をお願い致します。

世界中どこでも人々の交流が大変難しくなっています。しかし、こども達はこの環境の中でも自ら育とうとする力に溢れています。毎日の保育で対応できる工夫や努力を重ねていきます。

II 会計報告 (令和元年7月1日から令和2年6月30日まで)

収入の部

利子	6円
前期繰越金	670,739円
合計	670,745円

支出の部

次期への繰越金	670,745円
合計	670,745円

令和2年8月6日

上記の通り相違ありません。

会計担当 吉村るみ子 ㊟

令和元（2019）年度年間活動報告ならびに収支決算報告書

支部名 九州支部 支部長名 関 聡 ㊟

I. 活動報告

~~2019~~²⁰²⁰年4月18日（土）にチェチリア・クアリアーナ先生をお招きし、モンテッソーリ教育研修会が開催される予定でした。

講師：アンナ・チェチリア・クアリアーナ（Anna Cecilia Quagliana）先生

テーマ：種に触れると未来が拓く

～伝統のイタリアから再び新しい風 モンテッソーリ教育の魅力と可能性～

通訳：綿貫愛香先生

会場：大濠聖母幼稚園ホール

定員：130名

以上の予定でしたが新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため中止いたしました。イタリアをはじめ世界中の新型コロナウイルス感染症の終息を心からお祈りいたします。

II. 会計報告（令和元年7月1日から令和2年6月30日まで）

収入		支出	
前年度繰越金	1,237,257 円	郵送費	1,020 円
利子	11 円	次年度繰越金	1,236,248 円
合計	1,237,268 円	合計	1,237,268 円

以上

令和2年7月1日 上記の通り相違ありません。

会計担当：久留米信愛短期大学 事務長 北里 隆介 ㊟

【四国支部】

日本モンテッソーリ協会（学会）第53回全国大会 in 高知 準備・活動状況報告

先般全会員様にお葉書にてお知らせいたしました通り、当初2020年8月3.4.5日に予定されておりました全国大会はコロナウイルスの影響により中止となり、来年（2021年）へと延期となりました。

今夏に向けて準備を進めてきた大会内容は全て一端保留凍結という形で、来年度に引き継いで参りたいと思います。

内定しておりました各講演講師をはじめとする演習発表者様、研究発表者様、関連企業様各位に大変ご心配とご迷惑をおかけいたしますが、引き続き来年の全国大会へのご協力をお願いいたします。

現状は、下記方針の下、来年に向けての再準備を進めております。

●延期開催の準備方針

①同じ会場で行う

②日程は決定 7月26（月）27（火）28（水）

5月時点での会場の空き状況により、7月下旬開催となってしまいましたご了承下さい

③大会内容（テーマ・各発表者）については変えずに準備を進める

※秋頃再度希望調査を行い、欠員が出た場合は追加での人選を行います

④今年度準備で作成したものを再利用し、経費の軽減に最大限務める

⑤大会期間中できる限りのコロナ対策を大会運営に盛り込んでいく

●懸案事項

1年の延期となりましたが来年のコロナ状況もまだ見通しが持てません。

開催か中止の判断をするのであれば、コスト面から考えても大会申込案内状の発送前、すなわち3月末までの判断が望ましいと考えます。この時期を超えると、旅行代理店への委託業務費が発生し中止コストが高くなってしまいます。その時期の状況をみて理事会でのご判断をいただきたいと思います。

以上、延期となった高知大会のご報告をさせていただきます。

【北海道支部】

第 54 回大会の進捗状態について

本年の四国大会(高知)の中止と、来年の高知での開催予定を受けて、北海道は、再来年開催の担当をすることになりました。本年の四国大会の中止の決定以後、振り出しに戻って再来年の大会の詳細について検討中です。

【中部支部】

第 55 回大会の進捗状態について

中部支部では名古屋市内のメルパルクを会場候補として準備をしております。詳細につきましては、実りある会になるよう検討を重ねております。

